

## 平成25年第3回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

### I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	被害が少ない地域であったことから、回復自体は早かったと認識している。 一部自宅を流出した方もいらっしゃるが、町営住宅の建設も進んでおり、完成間近であり、住環境の再建も進んでいる。
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	元々民家の被災がなくて倉庫の被災だったから。
回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	浜も活気があり、元気よくなりました。
回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	周囲を見ても自分も以前と変わらない生活をする事ができている。住環境・生活は回復したと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	ほぼ回復したといえる状況に見えます。生活に関しては大きな不満等を聞くことはあまりなくなりました。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	当町においては、被災者に対しての住宅が8月中に完成し、引き続き防災センターの再建など、被災者はもとより、地域住民に対しての設備や施設整備が確実に進んでいる。一般生活に対しての回復は、進んでいると思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	災害公営住宅も一部完成し、入居が始まっている。 被災した事業者の新店舗建設も始まっており、復興を視覚的にも感じられるようになってきた。 雇用についても、人手不足となっており、求人情報が増加しているように感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	復興住宅こそまだまだだが、住宅を再建した方、内陸へ転居し新たな生活を始めた方も見られる。生活面では少しずつ回復が見られるのではないかな。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	災害公営住宅に入居する方や自宅を再建する方が増えてきている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	被災直後はほとんどの人々が無職でしたが、今はほとんどの人々が働き口があるようです（働いています）。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	日常生活の面では回復していると思います。ただ、衣食住の住の面ではまだまだだと思います。 ※回答欄に1、2と答えましたが、1と2の中間くらいですね
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	一人一人の心掛けで生活しているので、生活の回復は元に戻っていると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅の生活は、長くなればなるほど、不平不満が出てきて、人と人とのふれあいがギシギシしたものになる。これは当たり前の事象ではある。これの潤滑薬として、コミュニティ活動(自治会活動)は欠かせないものとなっている。窮屈な仮設住宅生活もあと数年。その日が来るまで、支え合い明るく楽しくの活動を行なっている。 自力で住宅を再建し3世帯ほどが転居した。また、現在建築中あるいは、中古住宅購入で引越し作業中の方もいる。 速やかな災害復興公営住宅建設が、求められている。

やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅の入居者にも住宅を建築する人が出て来てますし、災害公営住宅も入居者が決定し、生活は徐々に回復しつつあると思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	(1) 2地区に計画されていた災害復興住宅の1地区が完成し、他の1地区も着工となり、移転地の起工式が行なわれ、住環境の再建が具体化してきた。 (2) 自営の小売業の売上を見ると、昨年同期より向上していることから、生活も上向きになったのではないかと思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	移転地の造成工事は9月末を目処に完了に向け進んでいる様だ。一部公営住宅も出来上がり、盆に間に合い入居した世帯もある。 雇用面では本来の漁業、商業など元気力は見えて来ない。どうなって行くのか？
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	家を流された人の新しい家の土地が決まり、道路と土地区画が整備されているため。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	自宅・倉庫等の再建を多く見かけるようになった。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	公営住宅の工事が始まった。家を建てる人が出てきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	波の来なかった土地に住宅の再建をしているのが沢山出来ているし、町営住宅も一番早い人でこの8月から入れる状態にまでなりましたので、自分自身も家の再建をあせている今日このごろです。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	被災した土地にも建物が出来てきているが、いまだに仮設住宅で生活している人が多くいる。学校の校庭に建っている仮設住宅も2年が過ぎるので、県立・市立のアパート等が必要なのではと思います。家を建てられない人が大勢いると聞きます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	被災のことを前向きに話せるようになった。行政をはじめとする周りの方々のお陰で前向きな気持ちになっている。 周囲も明るい感じが戻りつつある。 これからも復興に向けてがんばりましょう！！
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	高台移転地の準備が進み、そこに住むめどがたってきたことがはっきりとわかるようになった。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	身近な人が復興住宅に入居できたので（私と家族は、被災後、住宅保険金が早々とおりましたおかげで住宅再建済である。）
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	山手のほうに家を新築している人が増えている様に感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	住環境が仮設住宅という事以外はある程度、生活のリズムもでき、回復しているように感じる。また、復興住宅も入居が始まり進んでいるように思うが、入居できなかった人、自力再建を目指す人との差があるように思う。 特に自力再建を目指す人達のために、休耕田の宅地化を早く出来る制度や支援を行った方が良いと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	高台移転のための整地が進んでいると思う。 そこがすぐに宅地にむくかどうかは心配する声もきかれている（地すべりなど）が、復興への動きは目にみえていて感じている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	復興公営住宅が完成し、仮設住宅から家具類などを運び出す車の往來を見ると、壁一枚で隣人とのプライバシーをお互い庇い合い、声を潜めた生活から開放されると嬉しさを感じます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	退職者が復職した。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	高台移転のための工事のため、ダンプがひっきりなしに走っていて、復興が進んでいるように感じるが、交通量が増えて住民の歩行等が危険だと思ふ時もある。 仮設住宅にも慣れてきて近所同士での交流もふえているようだ。

やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	雇用に関しては状況が全くわからない。住環境に関しては、高台の整備がはじまっているようす。少しずつではあるが進んでいるのが分かる。ただ、完成のH26?には間に合わないと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	家を建てて引っ越す方が多くなってきたから。でも、建てられない状況の人も、たくさんいますから、ややかな。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設住宅の居心地の悪さから、賃料を負担しても貸家やアパートへ転居したいとの意向を持っている方もいる。雇用面でも就職に向けた動きは鈍い。当店においても、パートを募集しているが、1名の応募もない。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	被災者はまだ、仮設住宅等に住んでいるが、今後も住宅については、被災前の様な住居に戻ることはないと思う。仕事に従事し、生活出来る程度に回復した人は増加したように感じるが、釜石では土地の高騰など家を建築したくても資金不足で困っている人が多数いる。3ヶ月前より、新築している家が浸水地域で目立っている。手持ち資金などの資産がある裕福な人は、次々とアパートや自宅を新築している様だ。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	3ヶ月間でみれば、あまり変化はない。逆に周りの意識は、うすれていっているように思う。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	家を建てる人もいるが、津波から2年半くらいたっているのに内陸移動する人も増えてきている。地価の高とうがめだつ。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	被災前との比べる事はむずかしいと思いますが、自立する方もある事はたしかです。今仮設の方々は、あと5年は仮設住まいに成ると思ってます。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	生活は回復してきていると思う。実感はあまりかんじないようなきがするし、不安がいっぱい。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	漁業者限定ですが、船も揃い、5月～盆前にウニの水揚げも有り、一時的にでも生活にゆとりが感じられた。しかし、盆明けからは、水揚げが無くなるので、まだまだ先が見えないのも現実です。被災前でも余裕がなかったのに、水揚げ増加は見込めないのに、新造船の借金だけが重くのしかかります。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	高台の移転地のばっさいはおわったようだが、いまからが、かかりそう。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	震災後2年4ヶ月を経て、被災者の心は安定し落ち着きを取り戻したように見える。しかし、支援が薄くなっていくことを不安に思う方もいるようだ。また、自立への気持ちが充実しないと言う方もいる。市・町全体の将来像がまだ見えないからだろう。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	山田町には災害公営住宅が建っていない。「住む家」「仕事」に希望を持ってない今、精神的な心の支えが見えず、「生きるための気力」を失いつつあるように感じる。学校現場で感じることは、保護者の離婚が多くなってきていることである。さまざまな要因が考えられるが、生活への不安が大きいのではないかと感じている。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	市内のアパート等には（沿岸）被災された方々がおすまいになっており、いっこくも早い住んでいた地域への居住をのぞんでいらっしやるようである。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	山を切りくずし、ここにも家が建つのかという場所もある。アパートも建ってきた。公営住宅建設まではまだ時間がかかりそう。被災した土地に家が建てられず、土地から探すものの建築待ちの状態の人もいる。それはまだいい方で仮設住宅から出た後の見通しさえてない方々はどうぞすればよいのでしょうか。見通しを持てる人と持てない人の差が出てきたように思われます。

どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	住環境、自力で再建できてきている人の数は以前より増えているようだが、やはり仮設の状況を見ると、この状況がいつまで続くのかと感じる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	復興途中段階であれば、あくまでもその過程の中での満足感は得られるでしょうが、震災前から比べれば、決してそうではないと実感します。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	住宅や店舗の再建は、進んでいると感じますが、次の災害で住居や人命の被害が限りなくゼロに近付けるような方針で進めてほしいと思います。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	前回と比べて大きな変化は感じられない。 住宅事情については進んでいるとは思われない(赤前地区では、新築は1件)。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	正直に申し上げますと、他の方々の事はわからないのです。長びく仮設住宅生活で仕事がないと、生活できませんから、どう生活しているのだろうと思う方はいます。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	以前よりは、住宅の再建が進み、高台に家を新築する人が増えてはいるが、ほんの少しずつで、大半は、まだ仮設住宅住まいで、復興住宅や集団移転を待つ被災者が多い。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	雇用環境は建設業を中心に改善されていると思うが、住環境の整備がまだまだ遅れている。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	自分の両親は被災して、その後自宅を修理して生活を送っている。今の暮らしぶりをみると、震災前とほぼ同じ生活水準となっています。しかし、まだ仮設住宅で生活する人々もいるので、その方たちにとっては改善した感じはないと思います。仕事が「ある」「ない」も影響していると思います。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	「慣れ」しているだけで、生活の変化、回復は実感することはあまりない。ご近所同士でプランターの野菜を育てたり、声をかけあったりし、以前より周りの方々とのつながりを深めようとしている感じはある。 住宅を再建し、仮設を出る方も多いが、再建した方は「ここで本当によかったのか」と、すこし後悔される方もいらっしゃるようだ。 仮設等にそのままお住まいの方々は「この先どうなるの？」という不安を常に抱えているようだ。 前回調査から3ヶ月経っているが、あまり状況は変わっていない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	高台移転地の造成工事ははじまってはいるが、具体的にまだそこにいつ移れるのか決まっていない状況。高台移転以外で住宅を建てている方々も増えてはきているが、数は総体的にみて少ないと思われる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	表面上は回復しているように思われますが、会話をしてみると、水面下ではまだまだ苦労をかかえている人が多い。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	震災から2年半が経ちますが、理由はわからないけれど不安という方が多いように感じています。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	3ヶ月間の目立った変化は見られない。 日常生活は被災前とあまり変わらないと思うが、家や土地、生活環境を考えると回復はしていない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設内格差が生じてきているような気がします。若い方は仮設を出る方が多くなりましたが、お年寄りの多くは仮設を出られずにおります。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	日常の生活は落ちついて来ているが、仮設住宅から家を建築する等し、出て行かれる方が少ない。災害公営住宅、高台移転などの話はあがあるが、具体的な部分が見えない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	基本的には、5月の調査時点での回答と同じである。7月8日から防災集団移転促進事業に係る高台住宅地の造成工事が始まり、目に見える形で住宅再建の歩みを実感させられている。

あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	自分のことはわかるけれど、他人のことは気にしていないのでわかりません。 ただ、おおよそのかんじでは、今まで家のあった人が新しい家に住めるようになったという例は、とても少なく見えますので、回復はしていないと思います。仕事は、できる人もいますが、くわしくはわかりません。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	高台に移転し、住宅を新築したいと考えている方々の希望を早く実現する為、関係機関は頑張っているものと思われませんが、高台移転工事がなかなか見えてきません。早く高台に移転し安心した生活が出来る様に願っています。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	災害公営住宅の着工式があり、住居面で一步進んだように見えるが、街全体で見ると商業仮設店など、住居面でもまだまだ目に見えて進んでいるように見えない。 一部の方達は、自立で住居再建を始めているが（お年寄りがいるので、仮設で生活しづらい、又、本人が仮設で死にたくないなど）全体では、まだまだ3ヵ月前と変わらないと思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	お盆を迎える準備でスーパーはお客さんで賑わっています。どこの仮設も商店から遠くにあるので買物に出るのにバス、タクシーなので、買物以外の出費も気になります。 皆さん明るさを取戻し生活も落ち着いて来ましたが、その日暮しで貯えの出来る状態ではない感じです。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	やっと災害公営住宅の予定地が市より公表された（2ヶ所⇒当地区）。1ヶ所は至急入居したい人の為に（高齢者・病弱者等）住民の要望の場所。これはいち早く望んでいたもの。まちきれず一般公営住宅に入居した人が多数いるようだ。もう1ヶ所は防集の団地より少しはなれている所で浸水区域内だ。「津波が来た所なのでいやだ」と言う人もだいたいいる様だ。 一番大事と思うのは、あれほど国をあげて「コミュニティのつながりを大事」にすると行ってたのに、防集の団地には隣接する災害公営住宅の計画はない。友人といっしょに高台に移転したい人も大分いたのです（防集と同じ場所の災害公営住宅へ）。 国のうたい文句はりっぱだが、予算と時間（期限）にしばられて、結局理想には近づけないのが実状だ。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	まだ道路がこわれたままの所があって、バスやダンプが多くなって大変であること。こわれたままの港湾・防潮堤、まちにあったガレキは少なくなりましたが、高台移転や仕事など将来に不安があるため。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	生活弱者は全く回復していないが、居住地等生活の拠点を移した方々が多く、また、震災雇用により生活は回復しているように見える。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	被災した家屋の土台撤去工事がようやく始まったが、その後かさ上げし、住宅を再建するまでは、かなり時間がかかりそう。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	子どもたちは夏休みになったが、仮設住宅では気をつかい、道路では大型車に注意し、安心して安全に遊べる場所が未だにない。子どもたちに対するボランティアの方も休み中は多く来ているようだが、なかなか周知されていない。子どもたちは本来、ボランティアのお兄さんお姉さんと過ごすより、同世代で遊ぶほうが満足感を得られると思う。とにかく広場を確保したい。 病院が減った分、仮設診療所の存在は非常に大きい。夕方や土日、お盆中等も診療していただき、とてもありがたい。今後も継続してほしい。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	高台団地の造成工事が本格的に始まり、村の中心部をダンプカーがひっきりなしに通る、他方では、自力で住宅再建を図る方々の建築ラッシュです。回復は進んでいるという実感はあります。ただし、「回復した」といえるのは、多くの方が仮設住宅を出て再建された家に住むことができるときでしょう。そう言う意味では、「あまり回復していない」といえます。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	かさ上げするといわれて、仮設店舗も移動しなければならないと聞いているが、いっこうに工事は進んでいない。

あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	公営住宅がまだ建設されて居ないので、回復の実感がない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	再建しようとするいろんなことがあり、すすまないし、高台の土地がまたのび、7ヶ月ものびた。説明がたりない。質問をすると「係が違う」と答えない。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	被災者の生活回復度 移転地の造成工事も始まり、少しは心の余裕が見えてきたかに思える。 3ヶ月間の進捗状況 他の地域では、復興工事の影響もあり経済的に潤っている話は聞くが、当地方では復興関係の工事も一段落し、普段の状況に戻りつつあるように見える。ただし、地域の構造的な問題から遅々として進展している感じはない。 また、生活の面ではとりあえず生活に困窮している話も聞かない。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	なんの変化もみられない
回復していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅住いのままでは回復したと言えない。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	復興計画の事業実施が本年度始まったばかりであるが、防災集団移転の大臣認可は下りたが、完成までには最短で1年～3年位掛る見通しなので、被災者にとっては実感がまだ持てない。
回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	仮設入居者の一部は、自己再建で新居に住み始めているが、浸水し、居住不能の所に住んでいた方は、いつ仮設を出れるか不明の状態。高台買収は進んでいるが、造成はまだまだ。今の生活に慣れて来たので、特に困っている様な話は聞かなくなってきた。ただし、あくまでも現状に慣れたためである。公営住宅建設の話も、少し具体化してきたが、まだ目には見えない。町の補助（住宅再建への）も増額しているのは明るい話題。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	被災後に比べると確かに衣食住は確保された。しかし、被災前に比べると問題外である。やっと仮設に入居できたときから環境は進展していない。被災しない職場で勤める人は将来の目途も付けて、住宅を再建し仮設を出ていく人も何人かいる。仮設に入居する時、家族とバラバラになり1人入居している高齢者も多く、集会所でのイベントにも参加しなくなり、意欲が低下してきている。災害公営住宅が2ヶ所で募集が始まり、仮設内でも入居が決まった世帯もあるが、近くに買物できる店も無く老人世帯には不便との事。 被災した町方は今、土台の撤去作業が進行中で、どこにも復興と言う意味合いを成していない。見渡す限り雑草が生い茂り、原野が広がっていて、ここに街が復活するのか、この町がこのまま見捨てられるのではないかと思われる。スーパーに買い物に行っても若者は見当たらない。恒例の特売日にも以前の人込みは無くなった。
回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台移転、公営住宅等の場所は未定、工事の進行も目に見えて来ない。仮設住宅の生活も2・3年延長の見込み、先が見えて来ない!!
回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	まだ多くの方が仮設住宅に住んでいる。土地の購入や住宅建設に頭を悩ませている。 引っ越した後、昔からの友人と離れてしまい、寂しい思いをしている老人も多い。
回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	公営住宅の建設が始まり、仮設住宅での生活が終りに近づいているのかと思ったが、実際、住んでいる人達は、非常に迷っているようだ。 理由1. 家賃その他が発生すること 理由2. 自分の土地に盛土して家を建てられるのではないかと、町の方針を待ちたい 子ども達の精神状態が安定しない。家庭生活の不安定さが、子ども達に影響を及ぼしている。子育て世代の心のケアを望む。
回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	土地のかさ上げが進んできたから(3ヶ月前より)

回復していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	地域の仮設に住んでいる方々は具体的な高台移転の話の進展がなく、他所へ家を建て移っていくなど、地域がバラバラになってきている。又、市内でも、浸水区域に建物が建ったり等して、活気が出てきている地区と、まったく手付かずの町との差が目に見えて分かる。がれきの集積場も何とか早く処理する方法を考えてほしい。そばに住んでいる住民は少軒数なので、行政は問題にしていないのかもしれないが、毎日あがる粉塵に大変な思いを続けている市民がおります。
わからない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	安定した収入のある職場に勤めている人と、フルタイムで働いても12～13万円の収入しかない世帯では、生活の回復度に大きな差がでているように思う。なぜなら、仮設住宅から新築あるいは改築して出ていく世帯、先の見通しの立たない世帯と、分かれてきているから。私は収入の少ない世帯がこの先に希望が持てるようになったときに「生活の回復」と言えるのではないかと思う。

## II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	スーパー等も出来、また、若者も働きに出ている現状を見ると、ある程度回復していると思います。 ※本当のところ（回答は）1と2の間くらいというのが妥当だと思います。
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	養殖施設の復旧。 加工用の機材の支援事業(補助)により、昨年まで昆布を断念していた人たちが被災前と同じように昆布養殖を行なう事が出来るようになったから。
回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	水産業においては、個人船できあがり、ウニの開口でき、元気づいた様子でした。
回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	地域経済は、以前と比べ回復したと言ってもよい。あるいはそれ以上かもしれない。しかし、今の状況が長い目で見てどこまで続いていくかは、何とも言えない。
回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	TV「あまちゃん」の効果がすごいと思う。県内ニュースをみると、観光客の数がすごい、グッズが売れていることを考えると経済効果もあると考えられる。私の地元の田老も、徐々に漁業施設が立派になっているように感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	地域経済自体は回復しているが、被災した企業や原発の風評被害のある企業については、未だ厳しい状況が続いている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	再開した施設を見て、少し回復を実感している。建設中の店舗もあり、求人も出ているので、消費・雇用の両面で回復も進むのではないかと期待している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	観光面がもりあがっているから。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	商店などがシャッターを開けている。又、客も入っているようです。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	養殖施設は復旧し、生産体制にこれから本格的に始まるが、漁港の復興が終わっていないため(当市完成H27年度)、作業場の完成はその後になるため、その間の作業に重大な支障を来す。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	色々な物事が少しずつ回復していると思うが、地域経済となると、地域に帰る支度をしている人、帰れない人、地域にはコンビニも出来、前から残って地域の世話をしてくれる人達、帰ってくるのを待ってる人達が多くいます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	ワカメ、ホタテガイの浅海養殖業が、復旧復興されてきた。カキ養殖にあつては、来年度生産が予定されている。 但し、大破壊された漁港船揚場などの整備が遅れている。早期の復旧復興が望まれている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	建設業、建築業が仕事で忙しそうだ。民宿業の再開、商店会も仮設ながら頑張っている。漁業はホタテ養殖作業が始まったこと、ウニ漁の開口で漁家の収入もあった。釣り船も活発で収入増となっている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	漁業協同組合も新組合が設立され、漁業者の方々が若布、ホタテ、ウニ等作業が始まり、前の生活に戻りつつあると思われる。



やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	水産加工会社が稼働再開し始め、市場に活気が戻りつつある。反面、釜石の市場の魚価が安過ぎて、宮古や大船渡の市場に魚を運ぶ漁業者が急増して、釜石市漁連の先が心配である。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	サケふ化場が完成し、アワビ養殖施設ももうすぐ完成しようとしているため。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	岸壁はまだ不便な所が沢山あるが、養殖漁業、ウニ、天然ワカメ漁などは被災前と近い水準になってきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	港の整備が進んでいるが、はかどらない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	近くにスーパーが建つとウワサになって2年近くになりますが、ようやく今月から工事が始まりました。スーパーが建つ事によって回りもこれから変わって来ると思いますし、一番雇用につながるので、いろいろな事をしてもらいたいです。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	求人を行なっても応募がない事から、失業率は減少したものと思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	被災した農地の整備が始まっている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	重茂の「焼きうに」が市場にたくさん出回るようになった。いろいろな所で「ふか場」も再建されている。どんどん再生させていって欲しい。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	住宅再建の方が増えてきたことで建設業を中心に仕事が増えてきていると感じています。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	復興イベントに多数の老若男女が参加し、出店で買い物を楽しんでいたから。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	建築・建設業を中心に大変活気があるように感じられます。また、「あまちゃん」効果か、道の駅にもだいぶ車が立ち寄っています。土産物の販売も好調のようです。水産業の養殖が再開し、順調に行けば来年あたりから、たくさんのお荷ができそうだということです。これが一過性のものでないことを祈るのみです。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	新聞の広告が増えたこと 求人が多くなってきたこと
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	NHK朝ドラ「あまちゃん」による経済効果。ただし、各家庭レベルで向上したかは不明。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	全体的に進んでいると感じてはいますが、各地域の努力もあってだと思います。自治体では様々な条件等があり、大変というのも耳にしますので、現場に合った方法を見出せばいいのかなと思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	だいぶ回復してきたと思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	夏になって観光シーズンで、一本松に人がたくさん来ているようで、地域経済は回復しつつあるように思う。このままずっと観光客が来てくれれば、被災前の地域経済に戻るような感じがする。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	震災前と同じくらいの漁業の仕事量があると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	特に水産業においては、漁業者は早期に再生してはいたものの、これまで、漁協等の設備不足の問題があったが、例えば製氷施設などであるが、この点も8月中には完成し、回復は確実に進んでいると思う。

どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	当地区では、建設業及び飲食店の入込は回復を感じるが、それ以外の業種については、依然として厳しい業況が多い。 飲食店を中心に営業再開先が増えているが、中心市街地については、その方向性とスキームを検討しているとのことであるが、我々には、まだ足音が聞こえてこない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	建設業は、復旧復興需要を取り込み好況を呈しているが、その他は変化なし。 むしろ大手資本の進出により、町内小売業者は影響を受ける（廃業等）可能性も高い。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	求人数・求人倍率とも被災前には考えられない数字となっている。「いくら募集しても人がさっぱり集まらない」という事業所の声があったが、今はあきらめて高校新卒者へ狙いを絞っているように感じる。 ここ3ヶ月の事情はほとんど変わっていないように感じる。 零細事業者への支援がどうなっているのか見えない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	民有地に建つ仮設商店街のなかには、自治体と地権者との土地賃貸契約が更新されない見通しとなって、今年中に移転するよう求められた店もある。仮設店舗に入居し、資金をかけて営業を再開した被災事業者が苦境に立たされている。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	こちらも、産業によって格差が生じている気がします。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	地元の経済は震災前から低迷しており、復興関係の業種は活気がある様ですが、地元の商店、農業・漁業は良い話しが聞こえてこない。チェーン店（衣料品店、電器店、ホテル）の建設が始まっているが、地域経済の回復につながるかは難しいと思います。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	海岸線の復旧工事が進んでおり、水産関係の冷凍冷蔵施設等が建築され、水産関係の復興は見えてきました。 震災前の事業量になる様に期待しています。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	農林水産業の基盤整備等は、ある程度回復されてますが、内陸型の企業（安定した誘致企業）が少ないので（新企業0%）。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	津波前の仕事には多くの人が戻っていない。復興工事など異業種に変えた仕事内容で生活資金を得ている様だ。 漁村なのだが、本来の漁村力はどこまで戻るのか、全体の漁船数も減った、淋しさ実感の現状。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	大型スーパーの出店計画など、具体的な町づくりの一端が見えてきている。しかし、それにとまなう専門店・個人経営の店などの不安もあるだろう。長期的な雇用が保障される企業の復旧・誘致がなされれば、回復への実感ももてるのだろうが、まだまだ安定には時間がかかるだろう。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	建設業にたずさわっている方々の多忙さが推察される。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	船の数は少しずつ多くなってきているように感じます。海の町の復興は海からだと思います。水産加工業・養殖等の復興が望まれます。 震災で流されてしまった店が仮設店舗で営業を始めたのは大変うれしく思います。しかし、営業はしたもののスーパーや大型ショッピングセンターに出掛ける人も多いのも事実です。地元の地域経済には変化がないかもしれません。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	水産加工業などは回復していると聞くが、浸水地域の店舗はまだもとにもどらず仮設店舗である。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	農林水産業の回復は、特に漁業については、徐々に回復しているように見え、とても心強く感じる。しかし、他の地域経済については、まだまだ時間がかかると思う。商業関係をはじめ、働く場所の進展がみられない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	商店街の復興、あるいは建設業者等、地域経済が回復していると感じるものはあるが、あくまでも「復興のため」の産業と感じられる。

どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	復興に向けての勢いというか、活気は感じられます。しかし、実際に現場にいらっしゃる方々の想いは、知る術が無く、どのような状況か知りたと思っています。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	道の駅「なあと」が復活したのは良いニュース 通勤途中の赤前については、家が1件建てられたのが変化
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	本当の所が見えない。外見上は変わらない様に思うが、本心、本音は目に見えない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	再建出来ずに居る方も多く見られるので、回復したようには見えない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	最近、仮設店舗の飲食店でお昼を食べていると大型バスがやって来た。多くの人が足を運んでくれているのだと感じたが、仮設店舗では大勢を受け入れられず、断っていた。人は来てても受け入れる環境にはまだなっていないのだと改めて感じた。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	建設業者は活発な反面、地元商店は大型スーパーやコンビニに押され、苦戦していると思う。 水産業の加工施設の早期再開を望む声を聞く。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	テレビ放送されている『あまちゃん』効果のせいで小売店や宿泊業界では好況を呈している。この効果が持続されるような方策を早急に構築する必要を感じる。 当地域は、災害に伴う被災程度も少なく、農産品についても風評被害もなく被災前の状況に戻りつつあると思われる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	建設業は忙しいと思うが、農業水産業はあまり回復しているようには感じません。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	水産業は被災した船舶、氷を作る設備、市場等施設の整備が進んでいると思われるが、酪農家の草地除染、餌代金の補助などの進行状況が？ 農林水産業の業種ごとの格差があるのではと感じます。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	めだった変化はない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	仮設店舗の商店へのお客さんは増えていないように思う。ほとんどの人は車で買物に行くため、安いスーパーを利用しているようだ。 地域の中には新しい商店も増えていないが、車で5分位の隣町に大型のスーパーができて、たくさんの方が入っている。 何かイベントがある時は人もたくさん集まるようだが、仮設住宅が中心部から遠いところにあるため、高齢者は思うように行けないとの声がある。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	震災前は、シャッターが多い商店街だったが、今もそれはあまり変わらない。ただ、新しい商店を開く事業主もいる。震災直後、飲食店がにぎわっていたが、今は少しおちついた状態から下向きと聞いている。 農林水産業は施設がきちんと再建されることが回復への大きな課題と感じていたが、産直施設、製氷工場とそろってきたためだいぶいいようだ。 ただ水産業は、養殖業は回復にむかっているようだが、漁のほうは魚が獲れない話も聞く。今年の秋サケ漁に期待しているようだ。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	農業・水産業は震災後から見ると回復しているように思われる。商業は売上の減少が続いている店舗がかなりあると思われる。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	大型スーパーが着工されたが、働く人の不足や集客等、地域の方々からも不安の声が聞かれる。 街の活性化につながると思うが、住民のさめた反応もある。

あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	仕事については、全体的に人手不足で各企業の事業主は困っている。労働者の引き抜きが発生し、それが工賃(人件費)の高騰につながっている業種もある様だ。その為、仕事があっても断り、お客様に迷惑をかけている。 今、地元の大きな問題として、人手不足と土地の高騰(含資材や工賃)で困っている人が多数いる。 浸水地域で商店を再会したが、その周辺に人は住居していない為、お客の数がとても少なく不安だと言っている。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	基本的には、5月の調査時点での回答と同じである。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	よくわかりません。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	海岸通り魚市場付近は嵩上げがされ、広い道路が出来、大きな加工会社有二、三立ち並び仕事もしていました。漁業関係のスケールの大きさ、立ち直りの早さに感心させられました。働く場所が出来た事は、町民に取って有がたい事です。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	(1)水産業については回復傾向にあるように見える。 (2)水産業以外の1次産業には回復傾向は見られず、全体的には地域経済の回復は進みが遅く感じる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	養殖漁場の整備はある程度出来上がったが、作業場の施設が全く手をつけられず、養殖物の出荷のめどがたたない。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	商店街のほとんどの人が市の計画の予定地に出店せず他のところで商売を始めている。大型店は多くなってきているが、地元の店がどうなっていくのか、心配です。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	地域の職場では、求人を出しても、高賃金や仕事内容で選ばれる傾向にあり、人手不足が解消されず、なかなか地域企業の活性化につながっていかない。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	もともと地域経済が発展していなかったが、漁業の町だったので、それで何とか保っていた。しかし、漁業が元に戻っていない今、回復したとは言えない。 商業施設が少しずつ増えてきた。スーパーマーケットが新しく建設される予定である。今後、観光も回復して欲しいが、この分野はまだまだである。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	特にこれと言って回復した事はない様に思います。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	建築業の仕事が増えているが、災害にあった人にはあまり仕事がない(災害にあった人の経済は、あまり回復していない)。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	被災していない人からは義援金をもらう人に対し、「自分達の税金が義援金になっている」との思いがある様で、義援金をありがたいと思いつつもその額だけでは家の再建は困難。未だに被災の有無による溝は深いものがあります。 弁護士無料相談に行っても、最後には有料の話になってきて、相談も核心に行きつかない状況。 自営業者の震災ローンを減らす策・制度にも無理な条件が多く、再建は足踏み状態です。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	変化は感じられない。 地域経済が回復しているとは思われない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	業種によって差があり、仮設商店街で商売をしている小売店で、販売不振で規模を縮小するところも見られる。また、賃金格差もあり、従業員が思うように集まらない傾向も見られる。 来春から大手スーパーが進出し、消費者にとっては喜ばしい話だが、小売店への影響が懸念される。

回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	もともと裕福な町・地域ではないので、もともとこんなものでしょう… と言えなくもないが、水産加工関係まだまだ元には戻らないし、戻れない と思う。厚生年金生活者は、生活実感は震災前と変わらないと思う。 災害公営住宅に入居予定の方も、狭いという点を除けば、変わらないと 思う。持家を建てる方は、ローンの心配が出てくるのか思う。国・県・町 の助成は大変ありがたい。
回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	NHKTVのあまちゃん効果によりウニ・ホタテなど海産物が売れている（三 陸沿岸）ようだが、地元の人達にとっては海産物の値上り、品不足を感じ る。 仮設の衣料品店に勤務しているが、今年に入り又、夏、雨ばかり降った ため季節商品の売上が落ちた。その他の商品の売上げもよくない。 皆が代替地などに居住が移転した時などのために買いびかえをしている （新築で費用がかかる）気がする。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産工場も建つ様子は、当地にはまったく無い。魚価も昨年よりも安い （魚市場）。林業も生産活動・作業は全く無い。農産物も集荷しない（小規 模農業）。一次産業者は産直店を作って消費税UPに対応するしか道は無い 様だ。 交通の不便な当地区へ購入にくる人は少ないだろう。 地域経済の回復は国策で計画的に支援してほしい。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	町内の店舗が本設されず、未だ仮設の店舗で営業しているので、以前の 店々がどこで営業しているのかわからない。仮設商店街に入居している 商店はがんばっているが、山奥の小さな仮設集落に2、3軒で商店街を 作った商店は復活は大変だと思う。 仮設商店街で夜市を催されたが、以前の賑いは無く寂しいものだった。
回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	多くの店は仮設であるため、このあと本設がいつになるか、場所がどこ になるかわからないから。大型店が出店してたすかるけど、小さな店は 大変だと思う。今はよそから人が来てるのでなんとかなっていると思う けど、数年したらどうなるのかわからない。
回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	（ずっと続けられる）仕事がなく苦慮している地域住民が多いから。
回復していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	私が住んでいる地区は、変化が見られない。地域の住民の声が反映され る様な復興計画をぜひ望みます。

### Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	既に防潮堤があり、震災による津波から町を守っている。よって、災害に強い安全なまちづくりは達成していると認識している
達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	前回においても防災については、住民意識は高いと思う。自主防災組織も増えてきている。 問題点があるとすれば、少子化の問題もあるが、消防団の高齢化が進んでいることから若者（20代）の意識改革が必要かと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	道路などもきれいになりつつあるし、海の方でも目に見えて復興のきざしが見えていると思う。海岸などの設備が進んでいる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	新しく計画された2つの堤防の1つが着工され、完成間近となりつつあり、もう1つも用地の買収も完了し、着工を待つばかりとなった様である。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	沖防潮堤の設置やテトラポットの投入状況が進んでいないから。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤の整備が進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	まだ防潮堤等の工事中ではあるが、安全なまちづくりのために村が行おうとしていることは浮きぼりになってきたように感じます。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	堤防を再建して、震災以前の安全なまちづくりに戻りつつあるが、なかなか進んでいない。
やや達成した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	私の地元、田老では今ある防潮堤をもっと高くするという工事を行っている。少しずつであるがこちらも進んでいる。まだまだ余震があるので防潮堤は早く仕上げしてほしい。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤等が完成してきた。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	高台の造成が急ピッチで進められている。災害公営住宅も一部入居が始まり、更に2箇所目の建築も進められている。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	特に変化なし。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	色々整備を進めているとは思いますが、身近ではまだまだと感じる。がれき処理が進み、これからが本当のまちづくりになるだろうから、早く安心できる状態にしてほしい。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	8月4日、震度4の地震あり、3・11を思い出す揺れだった。 安全なまちづくりは…？ 街の建物はだいぶ建ち並んではいると思うが…何とも云えない。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	三陸道山田道路北側に、2本の避難路建設が完成されたことはよいが、関口川付近1本の避難路の活用に問題点が残る。周辺住民の声が反映されていないのでは。 山田漁港周辺は、海岸道路嵩上げ工事が進み、水産加工施設の建設も見られ、魚市場機能も充実してきた。 未だ防波堤の工事が進まないためなのか、住宅再建できる区域の嵩上げ工事が着工されていない。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	海のかさあげがあちこちで始まって進んできていると思う。

どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	岸壁のかさ上げはすこしずつ進んでいるようだが、海岸はまだまだ、手つかずのところもある。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	被災した土地にまた住宅を建築している人達がいる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	防災等の市の取り組みは形になってきた。教育現場での研修会や実践も積極的に行われるようになってきた。しかし、まだまだ低いのは全体（市民）の防災意識である。今この時期に、防災にかかる取組みに全体が関心を持ち行動しなければ、震災・津波の教訓は将来に語り継がれないのではないかと心配である。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	6月に災害対応マニュアル（町の）が配布され、避難所に指定されている学校としては安心している。しかし、災害に強いまちづくりは、10年後、20年後を想定しては不安な面がある。防潮堤を早期に改修した上で、災害に強いまちをつくっていくべきである。本町は各戸の土台さえ撤去されていない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	野田の防波堤再建の工事が着々と進んでいるので。 （2）は「やや進んでいる」としたが、達成したかどうかまでは判断がつかないため、（1）は「どちらとも言えない」とした。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	津波のみならず、大雨での地盤のゆるみなど、人が住むことを前提とした予防措置を個も地域も行政も共に考え、周知し、危機管理意識を維持していきたい。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	津波に対する避難マニュアルが作成され、いざとなったとき住民はどう行動するか、かなり周知されている。一方、防潮堤の再建工事が本格化しているが、土台の工事段階なので、その先の海がまる見えです。津波対策とは別ですが、高台を造成して森を切り開いたせいか、今まで来ることのなかった熊がひんばんに市街地まで出没するようになりました。人に危害が及ばないようにと、そちらの安全対策も必要です。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	震災後、この町を離れて行った友人たちが、この地に集まって話をする。「何も変わってないなあ」。現在住んでいる私たちがそう思うのだから、そう感じても… 防潮堤の整備はいつになるのでしょうか。海がとても近いです。改めてこの町は平地だったのだと、ずっと感じています。ガラスの破片やお茶わんのかげら、誰かが使っていたであろう日用品が落ちてているのを見ると悲しくなってきます。何も変わらない、ガランとした町を見るたびに、3・11を思い出します。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	様々な場所で工事の手が入っているのは見えるが、どの程度の進展状況なのかよく分からない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	テトラポットが積みあげられている風景を見たりすると「あれほどの大津波だったのに、またこれで、何とかなるのだろうか？」と疑問を抱く。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	ハード面での整備は着実に進んでいるものと思われる。しかし、ソフト面での整備、つまり、私たち住民の意識を風化させないようにしていく取り組みは、常に、意識していくべきである。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	防潮堤の工事が目に見えて進んでいるので、住民の方も安心している様子。しかし、港湾整備は遅れている。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	災害に強い安全な村づくりは、すすんでいない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	震災を契機に行政を中心に地域防災連携の機運が高まりつつある。良い傾向だと思う。 一方で、時間が経過するとともに住民の間での震災が遠くなりつつあるような気がしている。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の修繕作業は行なっているようですが、いろいろ進んでいるかわかりません。 市内の障害者施設や老人施設を福祉避難所として協定を結んだりしているので、少しは良くなっていると思います。

どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	週末久慈市に買い物に出かける時など、国道45線を車で走行していると、多くのダンプカーが高台移転先の造成地から国道を挟んだ新しい第二次防波堤の盛土に土を搬入している光景を見ると、壊れた海岸沿いの第一防波堤の修復と並行して作業を進めているのだと感じる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	防潮堤などまだ出来上がっていない現状なので、災害に強いまちづくりになっているとは思えないが、まちづくり計画は実行に移される年のようなので、これから目に見えて変化を感じられるのではないかと感じている。
あまり 達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	被災した建物などの解体は進んでいるが、その後の整備はあまり目につかない。ただ、港湾防波堤の建設は進んでいる。特に身近な下水道の整備はまだ整っていないように感じる。高潮の時は道路が浸水し、又、雨が降れば、道路に水があふれ、排水が悪い。 街路灯はLEDを使用した明るい物に変わり、防犯上とても良好だ。 まだ、具体的な構想がはっきり目に見えない為、困惑している人が多数いる(土地の活用など)。
あまり 達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	ある箇所を強化した場合、津波は他の所を破ると思うが、総合的に全体を強化しているとは感じられない。 時間の経過と共に危機意識が低下しているように感じる。 避難しやすいまちづくりが求められていると思うが、被災前と同じような所に建物が建てられ、道も特に広くもなっていないように思う。 3ヶ月前とあまり変わっていない。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	被災した宅地の買取りの説明等の話しはあったが、二線堤と高台造成工事はこれからの状況で、仮設住いが、後何年になるか、わからない。防潮堤の復旧・かさ上げ工事もこれからになるようです。
あまり 達成していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤は震災後と変わらず、破壊されたままである。まだまだ時間がかかりそうだ。
あまり 達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	岸壁のかさ上げは少しずつ出来ているが、人手不足の為に進行が遅い。高潮の時は海水があふれてくる。 防潮堤は全く進んでいない。国・県・町と管轄があるため工事が進まないのではないかと。
あまり 達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	住居移転等による地区の構成の変化に伴い、津波だけでなく豪雨による災害にも留意し、安全な避難場所・経路、指示等、地区ごとに話し合う必要あり。
あまり 達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	ソフト(避難方策)の方は震災前よりは進んでいると思うが、ハード(防潮堤)の方が進んでいないように感じる。早急に建設を進めて欲しい。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	私の家の近くの防潮堤は、津波によりこわれたままの状態です。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	通勤時に見ている堤防が、いつの間にか土の山になっていた。新しく作り直す作業がやっと始まったのだと思った。しかし、防災は個人の意識の問題だと思うので、防災教育や避難訓練などにも力を入れて欲しい。
あまり 達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	頑張ってくれているとは思いますが、完成するまでは達成できないという事ですからね。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	昨日の大雨で、市街で大規模な冠水がおこり、交通が遮断されたり、床下、床上浸水が発生した。山を崩している影響なのか分かりかねるが、以前では考えられない所や川が増水し、今日のようなことがおこった。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤整備工事は少しずつ進んでいるように見えるが、この1年に行なわれた復旧・復興工事(予定価格10百万円以上)で山田町の入札不調割合46.6%である。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤の整備等、工期が長くかかる物は完成が近くならなければ達成感がない。 防災マップ作成や避難先を見直すというのは、とても良いことだと思う。



達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	県より防潮堤について、私の地域では説明会がなされ、住民の合意もなされたと思う。ただ、まだ机上の段階。 避難方策については、地域のなかでまだ話し合われていない。おそらく防集に伴う中間道の新設と関連するためかもしれない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	重機やダンプはひっきりなしに動いていますが、目に見えた形では表れていない様な気がします。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	3月11日の大地震により、平均で約70cm沈下した防波堤（第2線堤）の復旧工事が始まり、安全なまちづくりが動き出した。 大津波により破壊された第1線堤の復旧工事の着工が望まれるところである。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	各自治体は、復興計画の中で防潮堤の高さを決めているが、本市の場合、住民の了解の元に堤防高を決めたとしているようであるが、市民の大方は堤防高の決定についてのプロセスがなく、不満を持っている市民が多い。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	雨による増水での対策が全然出来ていないと思う。少しの雨・短時間での雨によるかん水がめだつ。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	アンケートは東日本大震災に対する事で全ての工事が進んでいると思ってます。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	ハッキリ言いまして、何をやっているのかと思います。 安全なまちづくりというのは、ハード面だけではないと思います。サッパリ案内板がない。夜間など心配です。道路管理者と防災対策室の緊急点検が必要だと思います。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	まだ堤防も手をつけはじめたばかりで、安全なまちづくりには、ほど遠いと思います。 私の家のあった町（うのすまい町）は、まだ、手つかずのままです。盛り土も始まっていない状態です。 海は川とつながって区別がつかない、海がせまって近くまできている感じです。もし、又、津波がきたら、と思うと、怖いです。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の整備は旧防潮堤の取りこわし作業が始まったばかりで、まだまだ整備までは時間が必要と思われます。安全な町づくりの為、防潮堤及び道路整備について早期に完成する様、要望します。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤・高台住宅・道路・カサ上げ地、ともに進んだ感じがしない。防潮堤は、現状のものを撤去し始めた。三陸沖の大津波が来なければ良いが…。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	一部、テトラポットなどで防波堤の修理を着手している所もあるが、ほとんどが災害のあった時のままで、ガードレールなども折れ曲がったり、ゴミがからまつてるなどの場所もあったりで、あまり進んでいるように見えない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	8月に入って、土台撤去が始まりました。 嵩上げもすぐ取かかって下されば住宅も次々と建って行くと思います。今、仮設店舗長屋で営業しておりますが、仮設店舗跡地の嵩上げの時、どの場所で営業すれば良いか、今から思案に暮れています。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	新主要地方道（県道）の計画と被災した小学校・中学校の計画が見えてきた。概ね住民の希望が活かされている様だ。一部不満はあるが、早期着工・早期完成を祈るばかりだ。 住民はその県道ごとに震災避難（津波も）拠点となる小学校・中学校・警察官駐在所・地区公民館、できれば消防屯所を配置して避難の中核として位置付けを計画した。地区公民館の役割で市側と交渉して行く事になる。これが出来ないと2ヶ月目の挫折となる（1ヶ月目は新県道が浸水区域で旧道につながる事）。今後の動向が注目される。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤や第2線堤である県道の嵩上げは計画から発注の段階になっている。形は見えないが事業としては進捗している。防集移転も地域では全地区決定し、早い地区は造成事業に着手している。災害公営住宅についても、入居希望のとりまとめも終了し、住宅の構造、場所等の選定へと進んだ。

達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤や家屋の高台移転等全然進んでいないし、復興どころか復旧にも至っていない気がする。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	前回と同様。 決壊・崩壊した河口堤防・防波防潮堤の修理・修復の取組を早急に願います。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	復旧工事は少しは進んだが、防潮堤沖、防潮堤は手付かずのまま台風シーズンで、船を守るために気を付けなければと皆と話している。工事完了までは何年かかるのか？ 高齢化が進む漁村に人が増えそうな気配はない様だ。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤や第3堤防の工事が始まったが、土地区画整備工事がまだまだ進んでいない。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤も水門も未完成である。 防潮堤は最近着手したばかりだし、水門は壊れたまま手付かずです。
達成していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の整備はあまり進んでいない。
達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	防潮堤整備、手をつけていない。 安全ではない。船引場水位が高くなり、のろがついてすべってけがして救急車で病院に行きました。船引場、早期に整備をお願いします(野々前漁港白浜海岸)。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	すべてこわれたままなのと、人々の災害に対する自覚がうすれている。自分の命は自分で守ることをもう一度おもいだしてほしい。津波のおそろしさ、洪水のおそろしさ、防潮堤も川の護岸もこわれたままであること、地盤沈下していることを思い出してほしい。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	この3ヶ月進んでいない様に見えます。 まず、地権者との意見などの食い違いでなかなか進まないと聞いていますが、その通りだと思います。 みなさんの意見1人1人聞いても決まるとは思いません。もう県や町で、こうしますと先に言って始まった方がいいように思われますが…
達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	宮古市・山田町はほとんど進んでいない様に思う。田野畑は進んでいる。岩泉町は進みが見えてきた。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	津波に対してさえまだまだ完成していない防潮堤、道路(高台)が多いのに(むしろほとんど計画段階)大雨被害等に対するリスクは前よりも増えたと思う。高台に街がシフトしても、インフラが旧式のまま小さいので(排水路等)ちよっとの雨ですぐ氾濫するようになってしまった。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤はまだ破壊されたまま。津波が来た時は、どの道逃げればよいか、まだはっきり示されていない。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	もっと早く避難路を整備すべきである。町の中央部が全く手付かずである(盛土) 小・中学校建設が進んでいない。防災拠点としての役割も果たすため、なるべく早く建ててほしい。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の着工まで至っておらず、かつ、避難路の整備ができていないから。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤の工事は全く進んでいない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	時間の割りに…と思います。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤を修復しないで、あまりこわれていない道路とかを修復しています。 早く防潮堤を修復してほしい。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤等の災害に強いまちづくりは、何年、何十年で考えていく事ですので、なかなか3ヶ月のスパンで考えるのは難しいです。 また、同じような津波が来たらどうなるのだろう、とは思っています。

達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤が壊れたままであまり進んでいない気がする。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	ダンプが非常に多く走っていて、道路は土煙が毎日すごい。高台移転とは言うが、いつになれば山をけずり、そして自宅を再建出来るか不安である。お盆が来て正月が来て年を1つずつ取り、見えない未来に半ばあきらめと不安です。
達成していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	安全確保のため是非高台に実情に沿った道路の整備をしてほしい。
達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	震災で壊れた堤防を土のうで防いだあと、特に変わったようにはみえませんが、高潮で浸水する道路には砂利石が敷きなおされていますが、盛り土する地域もまだ手つかずです。川沿いに何もなくなりましたので、次に震度7クラスでの津波が発生すれば、確実に仮設住宅まで波は達すると思われ、心配です。
達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	前回の調査時と同様、「安全なまちづくり」以前の問題だと思う。整備工事も進んでいない。
達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	こわれた防潮堤がなおっていない。
達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	海の近くのがれきは撤去されたが、こわれた防潮堤はまだ直っていない。天候が悪く波が高い時には不安になる時もある。盛り土の整備がすすんできている。目に見えているので少し進んでいると感じる。
わからない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	被災前に住んでいた町方は全く雑草が生い茂る原野のままなので、まちづくり以前の話である。
わからない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の着工・完成は目に見えるが、災害時にどの程度の効果があるのか周知が必要ではないでしょうか。避難方策についてもまだ良く分かっていない地域住民がほとんどです。「高台」ではなく、明確な避難場所を地域住民が人目で分かる掲示・標識の工夫が必要だと思います。
無回答	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	学校前の街灯は変化がない。 津軽石地区の渋滞は解消できないか（宮古道路の早期開通） ☆鉄道の復旧！！

**【自由記載集：掲載にあたって】**

- ①回答者ご本人のご了解をいただいたもののみを掲載しています。
- ②自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。  
(一部、誤字・脱字等の修正、企業・団体・個人名の置換え等しています。)

平成25年第3回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

平成25年9月26日  
岩手県 復興局 総務企画課

〒020-8570  
岩手県盛岡市内丸10-1